

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 牛久市立牛久小学校 】

1 実践テーマ	I ・ III ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	牛久市立牛久小学校 第6学年 78名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間, 体育) ② 行事名 (車いすバスケットボール体験会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○車いすバスケットボールの選手の話を知ったり、パラリンピックの意義について学習したりすることにより、努力の大切さについて理解が深まるようにする。 ○車いすバスケットボールを体験する活動を通して、共生社会やパラリンピックへの関心が高まるようにする。
5 取組内容	1 オリンピック・パラリンピック教材「I'm POSSIBLE」を活用した事前学習 パラリンピアン香西宏昭選手の資料を使い、目標をもち努力する大切さを学んだ。実際の試合の様子を見ることで、車いすバスケットボールへの関心が高まった。



2 車いすバスケットボール体験会

- ① 実施日 令和元年11月19日(火)
9時30分～11時30分
- ② 講師 車いすバスケットボールチーム
「T-ROCKETS」選手5名 スタッフ2名
- ③ 内容
 - ・車いすバスケットボールのルール等の講話
 - ・車いすバスケットボールの実演
 - ・車いすバスケットボールの体験(全児童)
- ④ 体験会の様子



体験会での主な活動

- ・車いすの乗り方や乗る際の注意
- ・車いすバスケットボールのルール
- ・車いすでの走行体験(直線、ジグザグ)
- ・シュート体験
- ・講師による3対3の実演
- ・試合形式での体験

6 主な成果

1 「I'm POSSIBLE」を活用した事前学習から

事前学習において、車いすバスケットボールを扱うことで、体験会への関心や意欲を高めることができた。また、パラリンピアンの方の生き方から、努力の大切さに気づくことができた。(児童の感想より)

- ・私にはない強い意志があって選手になったことを知った。
- ・ひざから下がらないのに、あきらめないで頑張っていることが分かった。私が同じ状態だったら、くじけてしまうと思う。でも、香西選手はあきらめない強い意志や勇気をもって頑張

	<p>っているので、私もまねをしたいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックについてよく分からなかったけど、香西選手を見てパラリンピックへの思いがよく分かった。 ・大変でも気持ちが大切なんだとあらためて分かった。いつもの生活の中でも、「自分にはできない」ではなく、チャレンジすることが大切だと思った。 ・香西選手は足がないけど、選手として活躍する前向きな選手だと思う。ほくも目標を達成できるように頑張りたい。 <p>2 車いすバスケットボール体験会から</p> <p>体験会では、全児童が車いすに乗り、動かし方やシュートの体験ができたため、車いすバスケットボールの大変さや楽しさに気づくことができた。また、障害があってもスポーツを続けるということが、才能なのではなく、その人の努力と意志によるものだということに気づいた。</p> <p>(児童の感想より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手のみなさんは生き生きとプレーしていた。障害があってもスポーツを続けている姿に感動した。 ・貴重な体験ができてよかった。T-ROCKETSのみなさんとたくさん話が出来たことも、とても良い経験になった。 ・東京パラリンピックで車いすバスケットボールを見たいと思った。パラリンピックが楽しみになった。 ・車いすバスケットボールは楽しかった。試合をしたけど、勝っても負けても楽しいスポーツだと思った。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○代表児童だけの体験ではなく、全児童に体験を行えるように活動内容の設定を工夫した。全児童が出来るだけ多くの活動が行えるように、T-ROCKETS様やシッティングスポーツ協会様にご協力をさせていただき、車椅子を数多く用意した。</p> <p>○事前学習と体験会で扱うスポーツを同じものにした。また、事前学習と体験会を近い時期に設定することにより、児童の興味関心が高まる工夫をした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○全児童に体験をさせることを意識していたため、1つの学年での体験会になってしまった。対象学年を増やすための活動内容の工夫が必要であった。</p> <p>○事前学習と体験会の児童の感想や体験会の内容を、地域や保護者に発信することができなかった。校内のスペースを活用してのオリンピック・パラリンピックコーナーの設置や、ホームページ等を活用しての発信が必要であった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○2020年の東京オリンピック・パラリンピックに興味関心を高めていくために、「I'm POSSIBLE」等を活用した授業を実践する。</p> <p>○競技種目について知らない児童が多いため、競技の映像を使って学習する機会を作り、理解を深めていく。</p>